

(証券コード：6834)

個人投資家向け 会社説明会



SEIKOH GIKEN

株式会社 精工技研

2026年5月22日

本日本日お伝えしたいこと

1. 当社の概要
2. FY2025 通期決算ハイライト
3. FY2026 連結業績見通し
4. 中期経営計画マスタープラン2022（FY2022～FY2026）
5. 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート
6. 株式の状況と株主還元



当社の概要

会社概要

社名	株式会社 精工技研
上場市場	東京証券取引所スタンダード (証券コード：6834)
代表者	代表取締役社長 上野 淳
創業	1972年6月
本社所在地	千葉県松戸市松飛台
資本金	67億9168万円
売上高 (2026年3月期)	300億8788万円
従業員数 (2026年3月末)	連結：1231名／単体：164名



【本社工場】



【第2工場】



【第3工場】

関係会社

SEIKOH GIKEN EUROPE GmbH

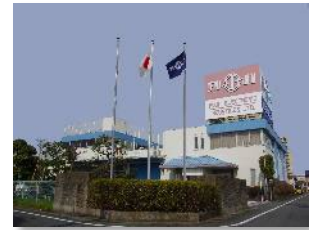
子会社10社 | 関係会社2社

株式会社エムジー



DATA PIXEL SAS

不二電子工業株式会社



SEIKOH GIKEN (THAILAND) Co., Ltd.

SEIKOH GIKEN USA, INC.



杭州精工技研有限公司

大連精工技研有限公司

- 精工訊捷光電（杭州）有限公司
- 精工訊捷光電（鶴壁）有限公司
- 浙江精工光電科技有限公司（※）
- 蘇州安准智能裝備有限公司（※）



（※）持分法適用関連会社

経営理念・ビジョン

■ 経営理念

すぐれた技術と独創性で、質の高い商品を提供し、
社会の進歩発展に貢献して、
会社の成長と社員の幸福を追求する。

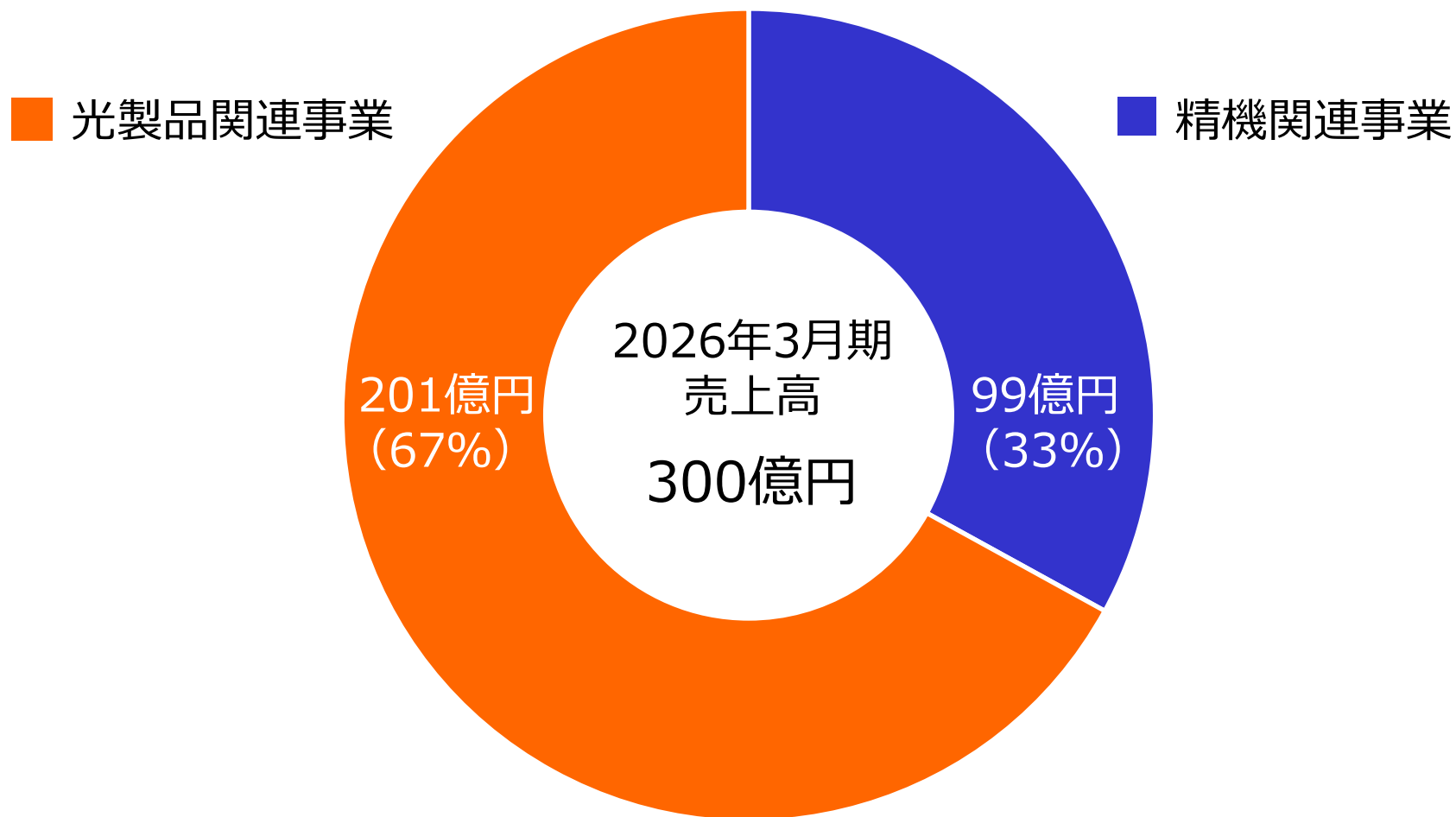
■ ビジョン

世界の顧客の『ベストパートナー』となる

- ◆ 精密技術で、顧客から最も頼りにされる存在となる
- ◆ 柔軟な発想で、新事業・新製品・新技術を創造する

事業概要

2つの事業の売上構成比は 1 : 2



事業の沿革

1972

自動車向け
焼結機械部品
成形用金型開発



1984

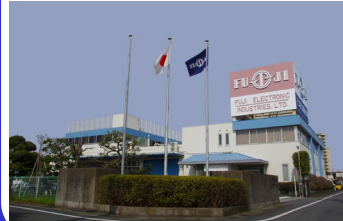
光ディスク成形用
金型開発

世界トップシェア



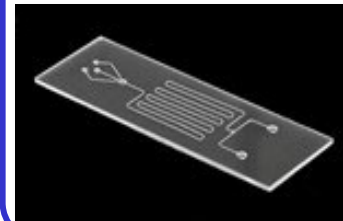
2013

不二電子工業を
子会社化
車載部品比率UP



2019

医療向け成形品
量産開始



2024

エムジー子会社化
成形技術の幅を
拡大



1972

1980

1990

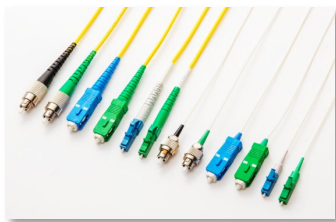
2000

2010

2020

1986

コネクタ付きコード
生産開始
光通信市場に参入



1987

光コネクタ研磨機
開発

世界トップシェア



2005

セイコーインスツル殿から
光事業を譲り受け

SII

2006

NECT-パル殿から
光デバイス事業を
譲り受け

TOKIN

2017

DATA PIXELを
子会社化



基盤技術と貢献領域

情報通信



自動車



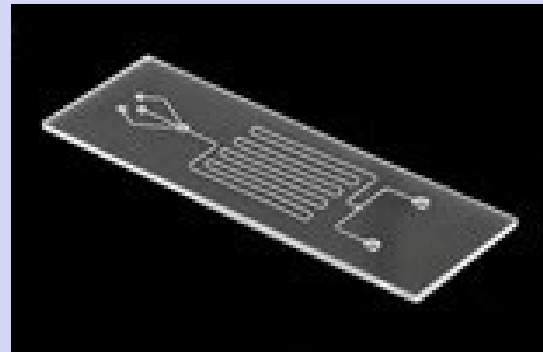
医療・バイオ



優位性のある基盤技術を成長市場に展開



精密加工技術



精密成形技術



光学技術

主力製品群

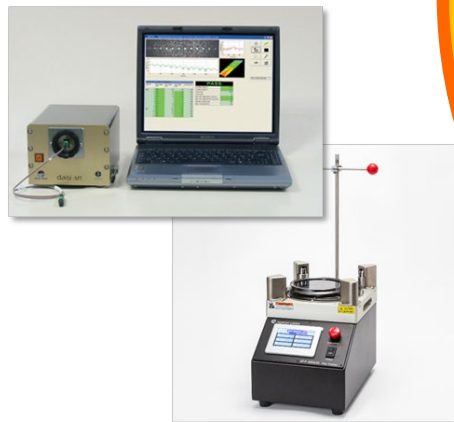
現在は 自動車／情報通信関連市場を軸に事業を展開

光製品関連事業

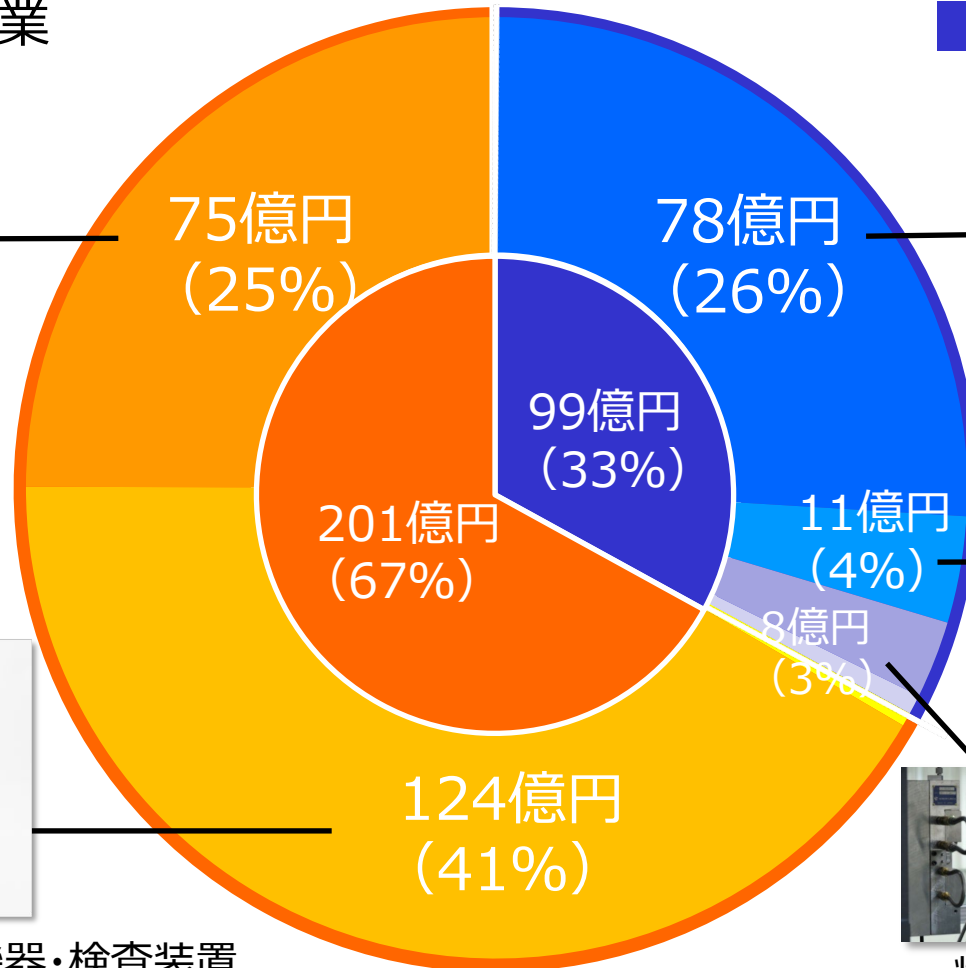
精機関連事業



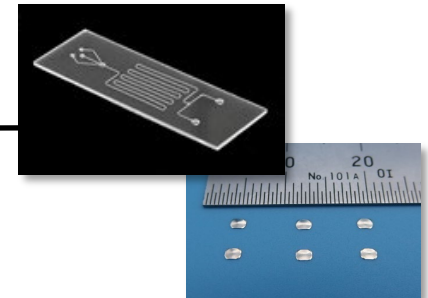
光通信用部品



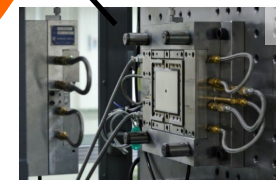
光通信用部品 製造機器・検査装置



車載用成形品



その他成形品



精密金型

主力製品（精機事業）

業界最高水準の精密金型技術をベースに、
インサート成形品その他の精密成形品を提供

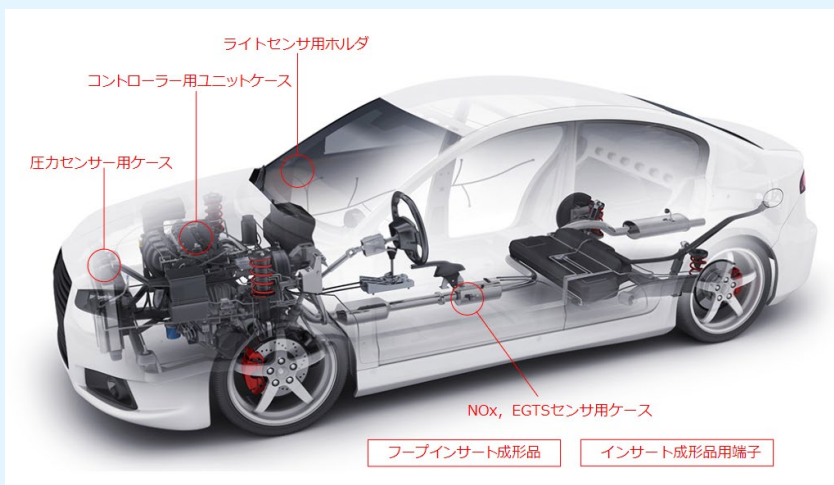
車載用 インサート成形品



圧力センサー用ケース



ライトセンサ用ホルダ



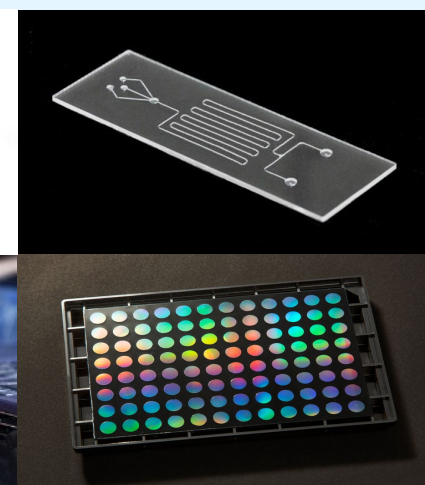
精密金型・精密成形品



光ディスク成形用金型



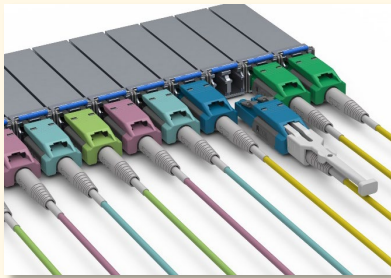
超精密金型



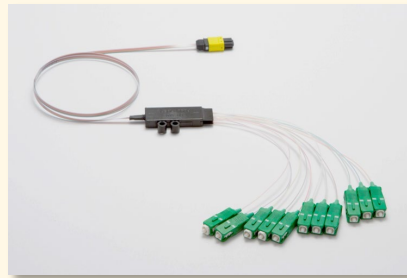
主力製品（光製品関連）

「光をつなぐ」ための あらゆる部品や機器・装置をラインアップ
光通信やデータセンターの拡大と機能向上に貢献

光通信用部品

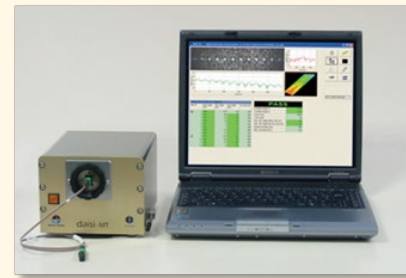


データセンター用光コネクタ



MPO（多芯）光コネクタ

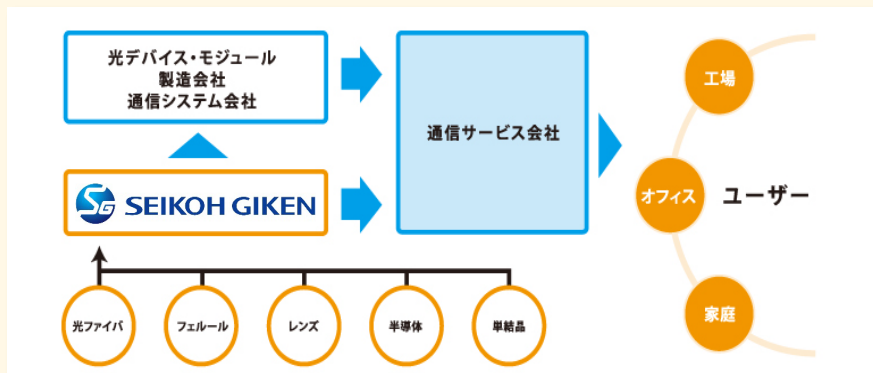
光部品 製造機器・測定装置



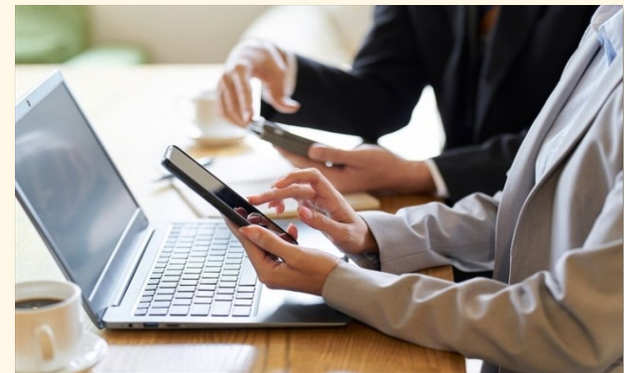
光コネクタ端面検査装置




光コネクタ研磨機



当社のポジション



高速大容量の光通信に欠かせないキーマシン



**FY2025 通期
決算ハイライト**

2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

展示会への出展強化



国内外の展示会に 13回出展 新規顧客との接点を創造
データセンター向けの光部品 や 自動製造装置 に注目が集まる
主要顧客幹部とのリレーションを強化し、密な商談をする貴重な機会に

2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

顧客サポートの強化



自動研磨装置「SFPS-V1」



光コネクタ研磨機の主要顧客に対して使用方法を指導

自動研磨装置「SFPS-V1」の新規購入顧客を訪問し、導入立上げを支援
光コネクタ研磨機の主要顧客を招き、使い方やメンテナンス方法をレクチャー
主要顧客へのアフターサポートを強化し、さらなる優位性の確立へ

2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

型内塗装技術の実用化推進



ハイエースのステアリングスイッチに採用 「SSIMC」による加飾成形品

システム販売開始の記者会見を開催

東海理化様と開発した「型内塗装技術」活用のスイッチがトヨタ車に採用

住友重機械工業様と開発した加飾成形技術「SSIMC」のシステム販売開始

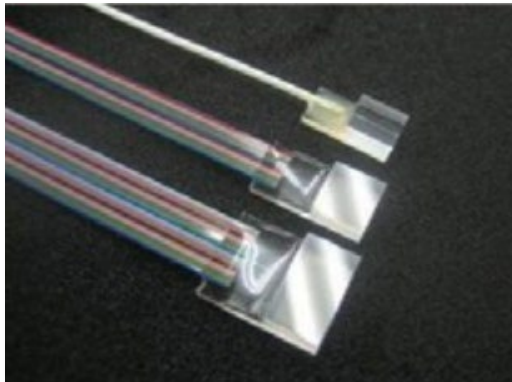
2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

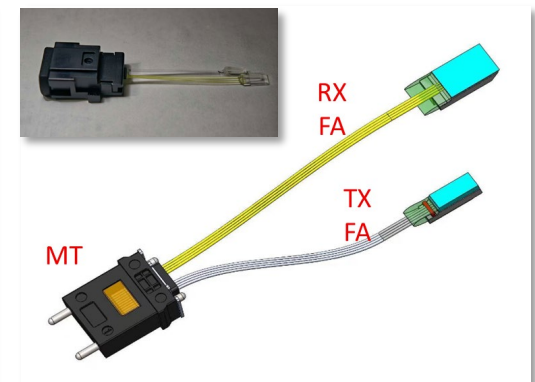
光トランシーバー向け部品の開発・量産化



ファイバアレイ



精工訊捷光電ではクリーンルーム内でMTファイバアレイを量産



2026年1月に設立した精工訊捷光電（鶴壁）でファイバアレイを増産

2024年12月に設立した精工訊捷光電（杭州）で
光トランシーバー向け部品（MTファイバアレイ）を量産

2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

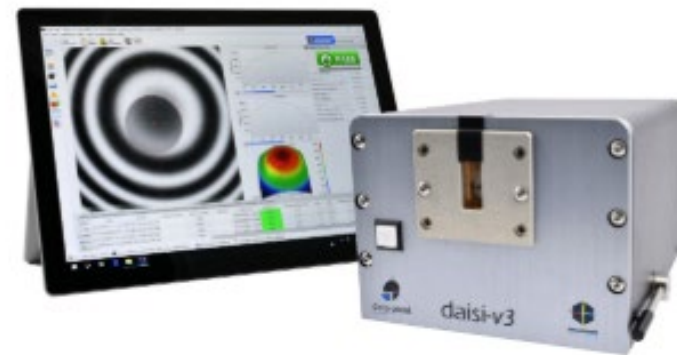
ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

研磨機・測定装置の生産能力拡大



研磨機は人員の増強と部材の調達環境を改善



DATA PIXELはオフィスを拡張して測定装置を増産

日本本社では光コネクタ研磨機の生産能力を、1年間で約3倍に増強

DATA PIXELではオフィスを拡張 人員を前期末比1.5倍に増員

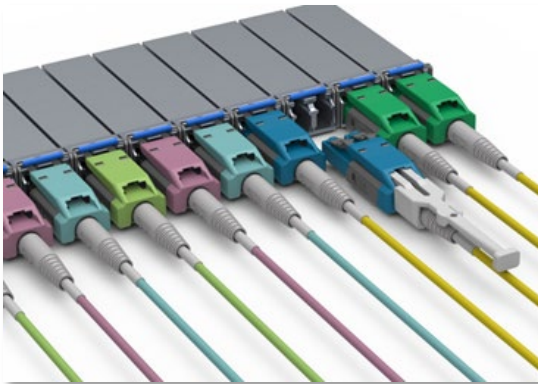
2026年3月期 事業施策

経済価値の最大化

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安く良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

光コネクタ 増産体制の確立



DC向け光コネクタ Intelli-Cross PRO SEIKOH GIKEN (THAILAND) は主要顧客の工場監査をクリア

**日本本社では、内製した自動組立装置でDC向け光コネクタを増産
2025年6月より SEIKOH GIKEN (THAILAND) が生産開始**

2026年3月期 事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が生き生きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

サステナブルな社会と組織の確立に向けて



サステナビリティ ウェブサイト開設



CO2排出削減と事業の継続に向けた活動を推進

FY2026に温室効果ガス自社排出量をFY2020比17%削減を目指す
グループ全体で節電対策の強化／省エネ設備への切替を実施
サイバーセキュリティの強化や防災訓練等、事業継続に向けた活動推進

FY2025 通期決算ハイライト

(百万円)	FY2025	FY2024	対前期 増減率	通期業績計画
				2026/2/13 修正計画
売上高	30,087	19,982	+ 50.6%	30,000
営業利益	7,733	2,817	+ 174.5%	7,000
経常利益	8,139	2,979	+ 173.2%	7,200
当期純利益	6,210	2,225	+ 179.1%	5,400

- 光製品関連が牽引し、売上高、利益共に前期実績を大きく上回る
- 収益性が改善し、当期純利益は前期の2.8倍に

FY2025 通期決算ハイライト

(百万円)		FY2025	FY2024	対前期 増減率	通期業績計画
					2026/2/13 修正計画
精機関連	売上高	9,963	9,200	+8.3%	9,800
	営業利益	1,064	588	+81.0%	1,000
光製品関連	売上高	20,124	10,782	+86.6%	20,200
	営業利益	6,668	2,229	+199.2%	6,000

- 精機関連は、エムジーの損益が通年で寄与し、増収増益に
- 光製品関連は、光コネクタ研磨機や検査装置の売上増により大幅増益



FY2026 連結業績見通し

FY2026 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	FY2026 見通し	FY2025 実績
売上高	16,600	17,400	34,000	30,087
営業利益	3,900	4,400	8,300	7,733
経常利益	3,950	4,450	8,400	8,139
当期純利益	3,000	3,400	6,400	6,210

- 想定為替レート 1 US \$: 150円 1 € : 170円 1 中国元 : 21円
- 外部環境の不透明感がある中、前期に引き続き増収増益を見込む

FY2026 連結業績見通し（部門別）

(百万円)	上半期	下半期	FY2026 見通し	FY2025 実績
精機関連				
売上高	5,200	5,300	10,500	9,963
営業利益	450	550	1,000	1,064
光製品関連				
売上高	11,400	12,100	23,500	20,124
営業利益	3,450	3,850	7,300	6,668

- 精機関連は、車載用成形品の売上が伸びず、前期比横ばいの見込み
- 光製品関連は、光通信用部品の売上が伸長し、増収増益を見込む



中期経営計画
マスタープラン2022
(2022年度～2026年度)

長期経営方針

当社グループが目指す企業像 「社会に必要とされる企業」

社会の**進歩発展**に貢献する

- ・ 豊かで快適な社会の構築
- ・ 安全安心な社会の構築



社会の**維持継続**に貢献する

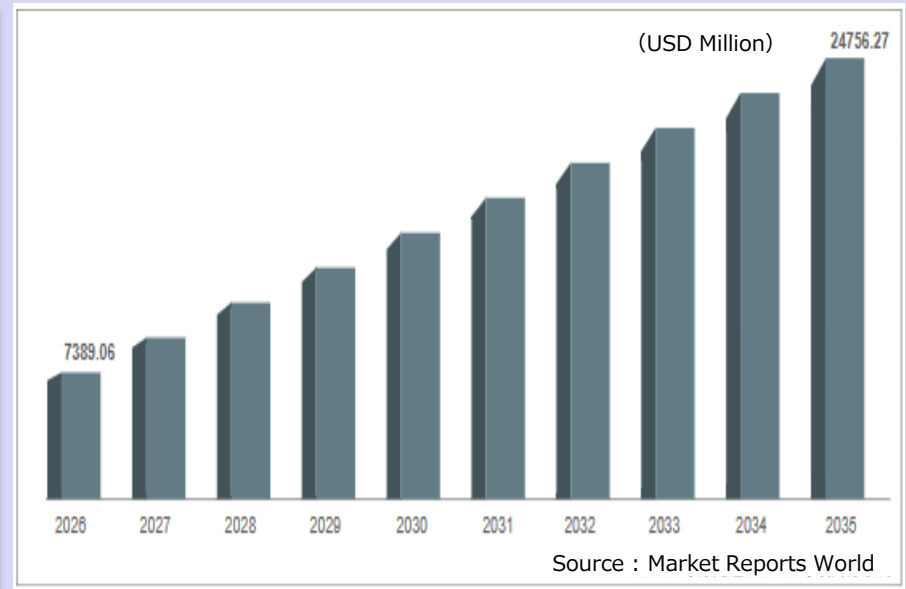
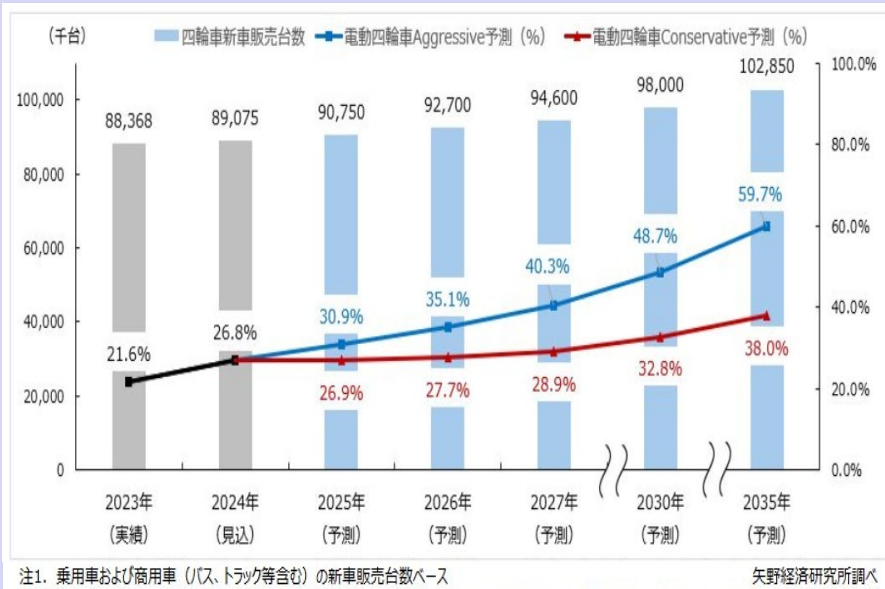
- ・ 資源循環型社会の構築
- ・ 脱炭素社会の構築



市場動向

当社グループを取り巻く市場環境は今後も堅調に拡大

■ 四輪車世界販売台数に占める電動車（xEV）比率予測 ■ Global Data Center Optical Module Market Size



- ・ 世界の自動車販売台数は緩やかな拡大 2035年には半数超が電動車に
- ・ データセンター向け光モジュールは2035年まで年率14.4%で成長

マスタープラン2022 基本戦略

経済価値の最大化 ～事業の成長～

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・ 新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化 ～サステナビリティ～

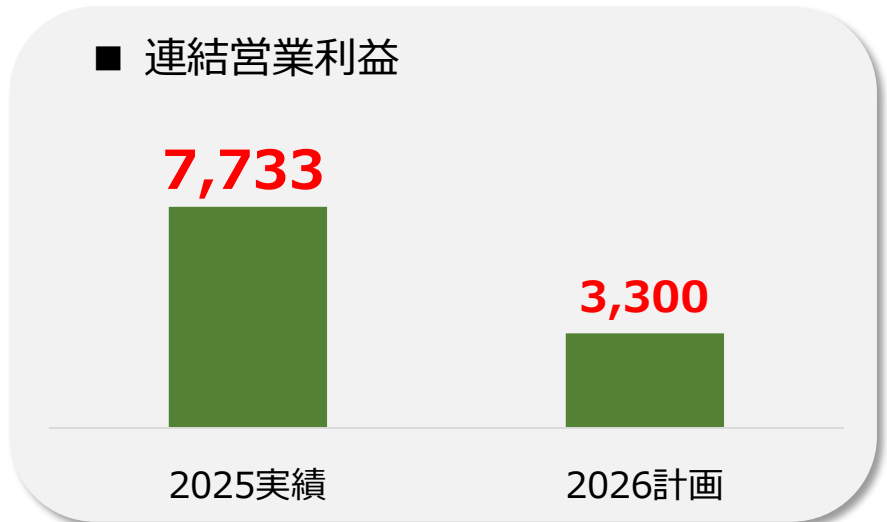
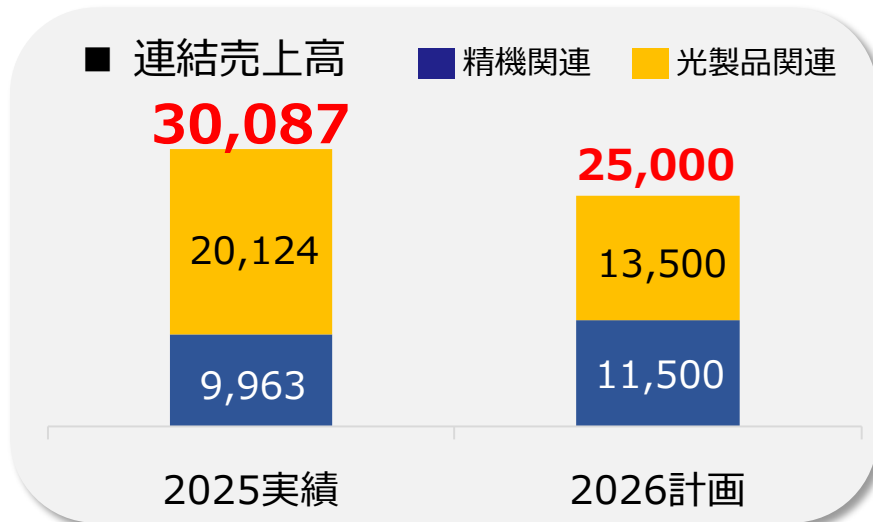
経営基盤の強化

- 多様な人材が生き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

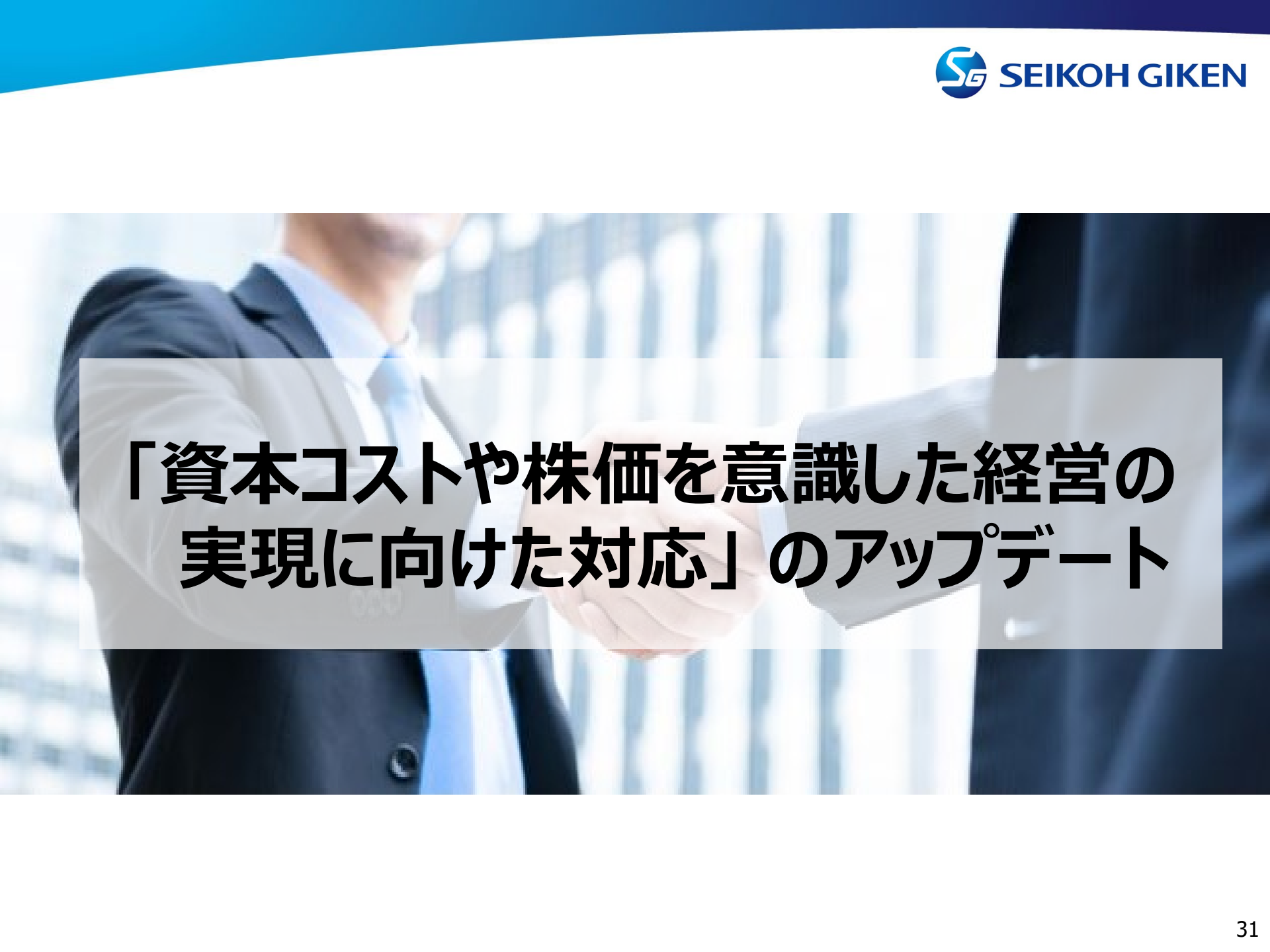
中期経営目標（損益指標） SEIKOH GIKEN

連結売上高、連結営業利益共に、目標を1年前倒しで達成

(単位：百万円)



(単位：百万円)	FY2025実績	FY2026計画	計画比
精機関連	9,963	11,500	△13%
光製品関連	20,124	13,500	+49%
連結売上高	30,087	25,000	+20%
連結営業利益	7,733	3,300	+134%
営業利益率	25.7%	13.2%	+12.5%

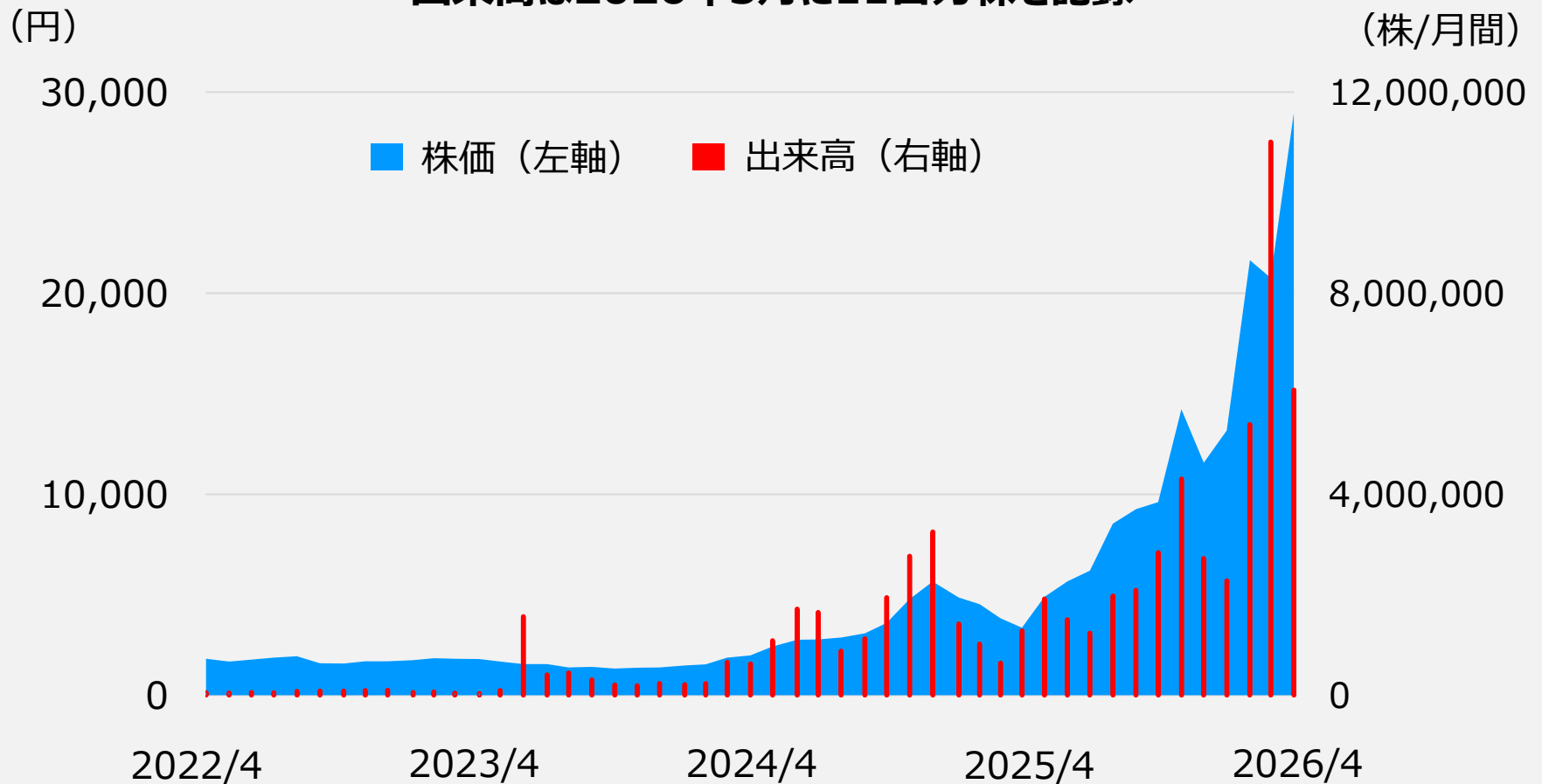


**「資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応」のアップデート**

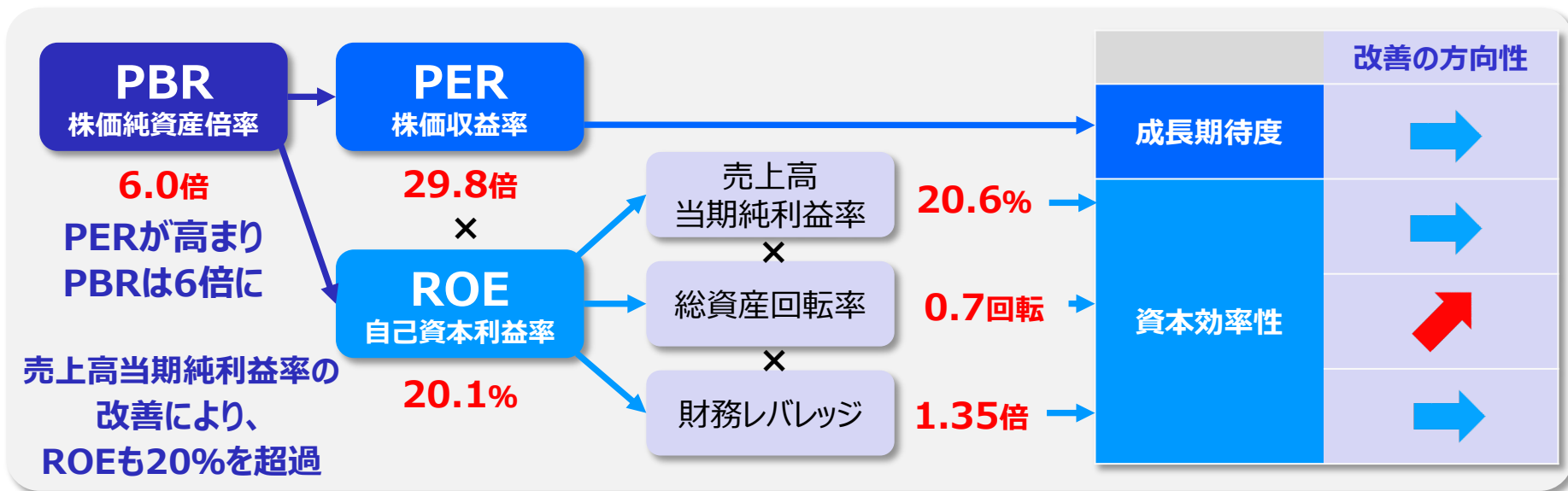
株価の推移

■ 株価/月間出来高 推移

株価は2026年2月以降、20,000円台で推移
出来高は2026年3月に11百万株を記録



現状分析



指標	単位	2021	2022	2023	2024	2025
PBR	倍	0.64	0.63	0.63	1.26	6.00
PER	倍	14.1	15.3	22.5	15.6	29.8
ROE	%	4.6	4.2	2.8	8.1	20.1
売上高当期純利益率	%	7.1	6.7	4.8	11.1	20.6
総資産回転率	回転	0.53	0.52	0.49	0.58	0.72
財務レバレッジ	倍	1.19	1.18	1.19	1.26	1.35

企業価値の向上に向けて


中長期的に企業価値を継続的に向上することのできる企業グループとなるべく
M&Aを含む**戦略的な事業投資**を積極的に行い、総資産回転率を向上していく

PERの維持 成長期待の醸成	IR・企業広報	<ul style="list-style-type: none">・ 機関投資家、個人投資家向けIRの継続・ 新聞、業界紙等へのプレスリリース強化
	サステナビリティ (非財務情報)	<ul style="list-style-type: none">・ 人的資本投資による人財力の向上・ ESG関連情報の開示
	株主還元	<ul style="list-style-type: none">・ 配当水準の維持、向上・ 機動的な自社株式の取得
ROEの改善 資本効率性の改善	利益率の維持	<ul style="list-style-type: none">・ IT化による業務効率の向上・ 自動化による生産効率の向上
	総資産回転率の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 戦略的M&A、アライアンスの実施・ 新中期事業計画に基づく事業の成長
	財務レバレッジの向上	<ul style="list-style-type: none">・ 投資規模により有利子負債の活用も

キャピタル・アロケーション

営業キャッシュフローは、M&Aをはじめとする成長投資に積極的に充当





株式の状況と株主還元

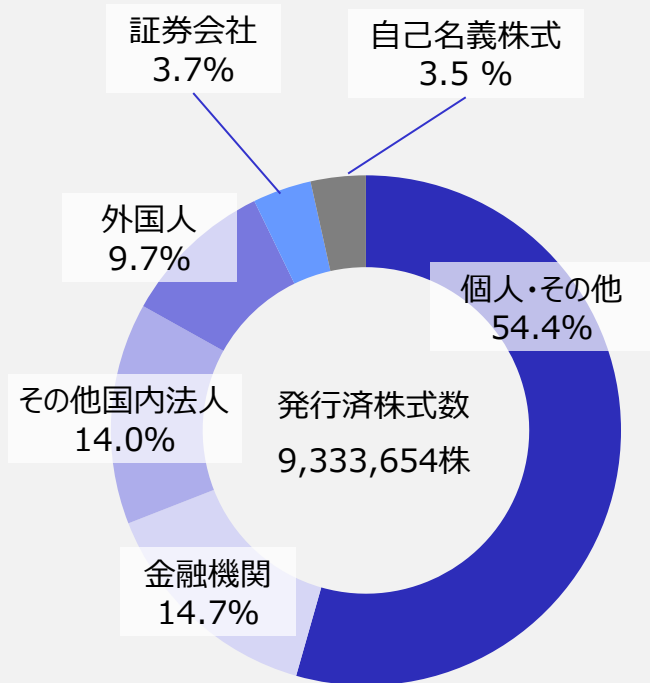
株式の状況

■ 株式指標

発行済株式数（2026年3月31日現在）	9,333,654株
株価（2026年3月31日）	20,760円
1株当たり純資産（FY2025 期末）	3,785円69銭
PBR：株価純資産倍率	6.00倍
1株当たり当期純利益（FY2025 期末）	695円65銭
PER：株価収益率（FY2025 期末）	29.84倍
1株当たり配当金（FY2025 期末予想）	100円
配当利回り	0.48%

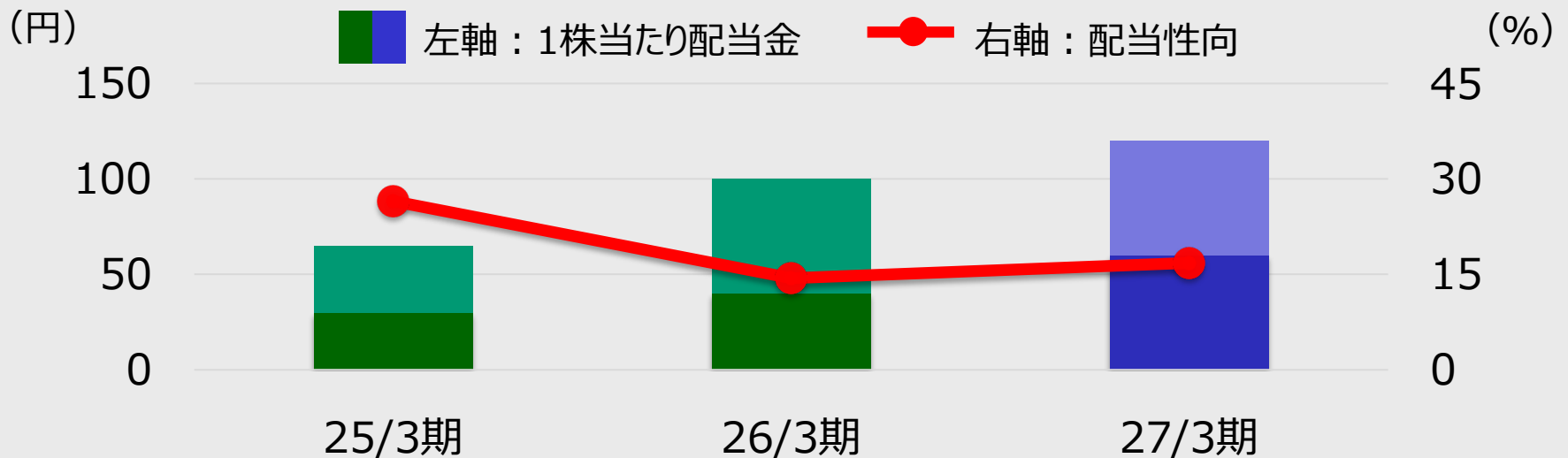
2026年3月31日株価（20,760円/株）で計算

■ 所有者別株式分布



株主還元

		27/3月期 見通し		26/3月期 予定		25/3月期 実績	
親会社株主に帰属 する当期純利益	百万円	6,400		6,210		2,225	
1株当たり配当金	円	中間 60	120	中間 40	100	中間 30	65
		期末 60		期末 60		期末 35	
配当性向	%	16.8		14.4		26.5	

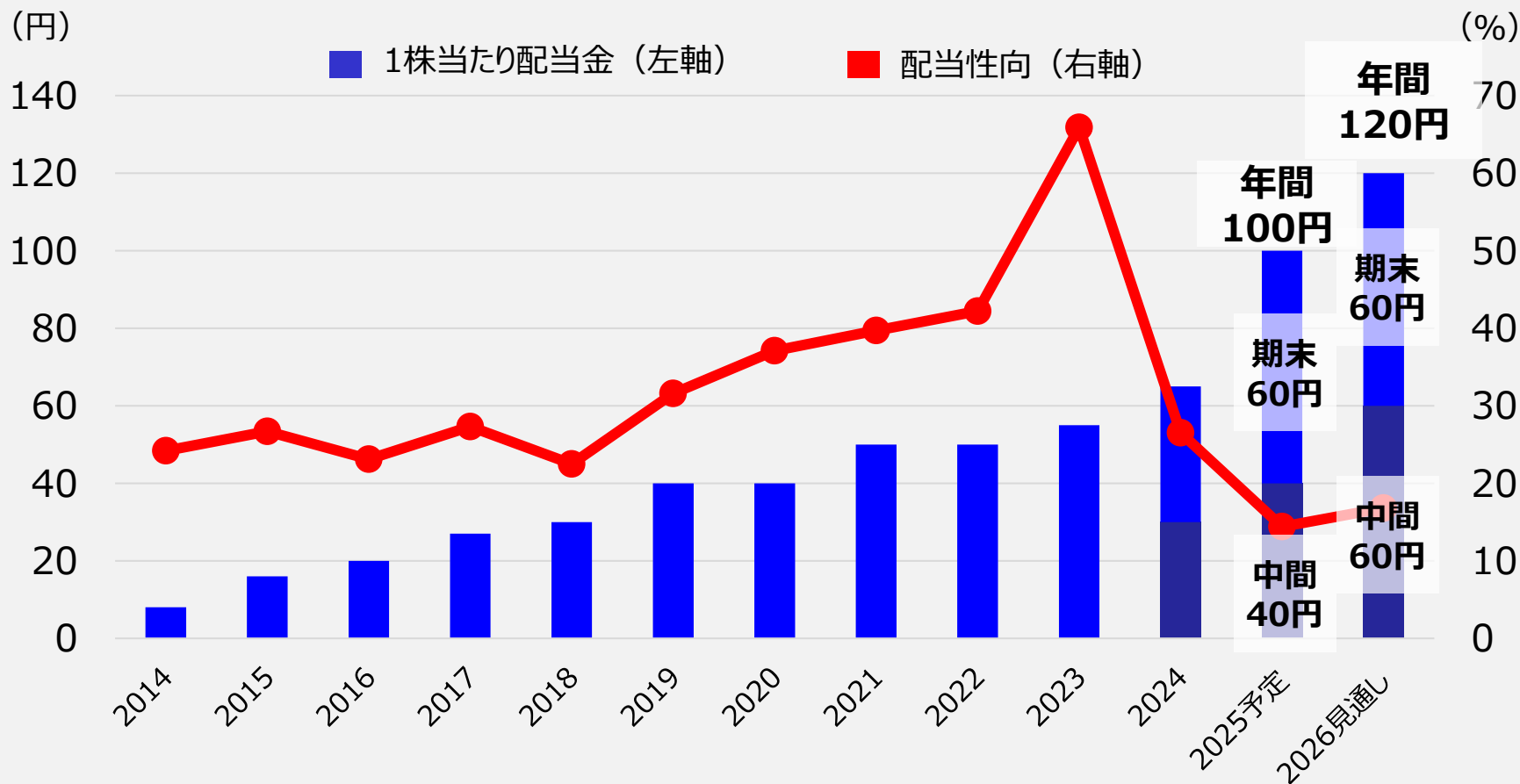


株主還元

■ 1株当たり配当金の推移

過去10年以上、配当金は安定して増加

配当金の水準は今後も安定的に維持・向上させていく方針



IRサイトのご紹介



コーポレートWEBサイト

<https://www.seikoh-giken.co.jp/>



IRページ

<https://www.seikoh-giken.co.jp/irinfo/index.html>



終わりに

本日はご視聴いただきありがとうございました。

当資料に記載している業績の見通し、その他の今後の予測・戦略等に関する情報は、
当資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、
通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別な事情の発生または
予測し得ないような結果の発生などにより、当資料に記載している業績見通しとは
異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は今後も、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、
積極的な開示に努めてまいります。当資料に記載している業績の見通しのみ
全面的に依拠して投資をご判断されることは
くれぐれもお控えくださいますようお願い申し上げます。



SEIKOH GIKEN

<https://www.seikoh-giken.co.jp>